JTAの健康経営目標と取り組み状況

健康診断の活用

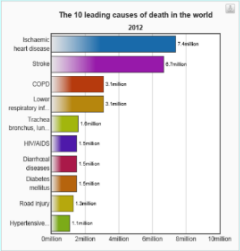
スクリーニング検査は、簡単に言うと、精密検
必要な人を見つけ出す目的の検査になります

従って、所見があった場合や、精密検査の判
出た場合は、より詳しく調べられる、専門科や
機器を用いて検査する必要があります。

スクリーニング検査のみで終わらせてしまうと危

動脈硬化になると

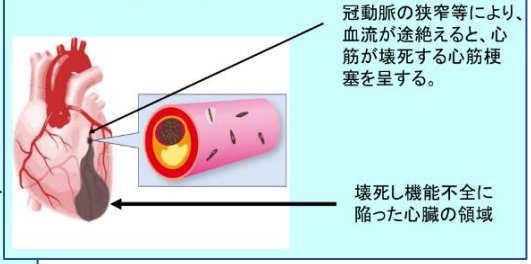
ここで、人類の死因（WHOより）を見てみましょう。



1 虚血性心疾患
2 脳卒中
3 lower respiratory infection（下気道感染症）
4 慢性閉塞性肺疾患
5 下痢性疾患
6 HIV/エイズ
7 気管がん、気管支がん、肺がん
8 糖尿病
9 交通事故による死傷
10 早産合併症

虚血性心疾患とは

狭心症、心筋梗塞など冠状動脈の障害を主な原因とする疾患です。



（★産業医によるセミナーの資料一部抜粋）

2022年の取り組み

・産業医による「健康管理と健康診断の活用：精密検査（再検査）の重要性」についてセミナーを開催

【部門長向け1回開催：参加率100%、再検査対象者（血圧・脂質・血糖値のいずれか又は重複している社員）向け1回開催：参加率22.2%】

・保健師による「こころとからだの健康相談」窓口の設置

・保健師による社内メール：たばこ対策「タバコは猫を被っている」を配信

・ストレスチェック：高ストレス者は2.4%であり、高ストレス者全員に保健師による補足面談を実施

2022年の結果及び評価

・課題の中でも優先順位の高かった精密検査受診率は85.7%（前年度16.6%）と顕著に改善しました。
産業医による精密検査（再検査）の重要性をテーマにしたセミナーを開催後、産業保健スタッフに加え、部門長の皆様からも社員への受診勧奨を実施することができました。合わせて精密検査の受診管理が可能な共有方法も整備することができました。

・部門長だけではなく、より多くの社員の意識醸成は課題となり、継続して取り組んでいきます。